

党市議会議員 南畑さち代



10月30日文化庁は「歴史の道百選」の追加選定を発表し、和歌山市など紀北5市町にまたがる「葛城修験の道」が新たに選ばれました。(写真)

葛城修験の道は和泉山脈から金剛山脈へと連なります。修験道の開祖といわれる役行者(えんのぎょうじゃ)が平安時代末期から法華経八卷二十八品を埋納しとされる経塚(きょうづか)を「葛城二十八宿」とし行場、拝所、宿所等を設け、又関係寺院を含めて修行の場としています。

「歴史の道100選」に「葛城修験道」の道

文化庁が選定



昔の道が今も歩ける状態で残されていることが評価されたようです。県教育委員会文化遺産課は「これらの道を将来に残してほしい」と話しているそうです。

その和泉山脈にメガソーラー建設計画が浮上した際、私は地質の専門家と一緒に歩き山の斜面崩壊跡などを見て、地質、地形的にも計画は反対と確信し、また、修験の方々が修験の道として今も守っておられることを知りしました。和泉山脈の自然は文化庁も選定した歴史的価値のある道を包含していきたい、メガソーラーが並ぶことは絶対に認められないと強く感じました。

県議員 奥村のり子の 「しん赤旗」 読者ニュース



2019年11月17日 第381号

—奥村のり子生活相談所—

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎ & FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp

あちこちからカレンダーが届き、気持ちだけが忙しい日々になっていきます。読者のみなさまにももうすぐ赤旗カレンダーのお届けが始まります。来年の写真は様々な国の子どもたちの笑顔です。ぜひお楽しみにお待ちください。

さて、先週は決算委員会があり2018年度収支の審査が奮闘しました。楠本議員が委員として奮闘しました。今、問題になってきているカジノ誘致関連についてご紹介いたします。企画部の計画調査費の項に県勢活性化企画調整事業が充てられて8千万円の予算額に対し、決算額は5千万円でした。報告

**今年度カジノ関連予算は2億3千万
職員派遣は14名(人権費は別)**

書ではIR誘致に関する取り組みに必要な調査事業や委託事業等を実施したとされています。そこで、さらに県当局に聞き取り調査をしました。IRの基本構想などを作成するための委託料などに約2300万円、交通量調査に500万円、他にも印刷代などいろいろあります。職員の人件費などは入っていません。今後IR誘致にどれだけの費用が必要なるか分かっていません。今年度予算では新規事業としてIR推進事業に2億3千万円計上されています。IR推進室には14名の職員が配置されています。人件費は含まれていません。みなさん、カジノ誘致を絶対許さず県民のいのちと暮らし優先の県政にするために力を合わせましょう。

8日近畿いっせいの駅頭宣伝です。市駅前では毎週金曜日朝7時半から宣伝しています。市駅前へどうぞー!



田村智子参議が圧巻の質問！ しどろもどろのアベ首相

11月9日の日刊赤旗で胸がワクワク。日本共産党の田村智子参議院議員(党副委員長)が8日の参院予算委員会で「安倍内閣のモラルハザード(倫理の崩壊)は安倍首相が起こしている」として「桜を見る会」での税金私物化問題を厳しく追及。田村さんのHPから質問のすべてを見ました。キビキビして首相の逃げを見逃さず反論するなどすばらしい質問でした。「桜を見る会」の参加者数、支出額は安倍政権になってから年々増え続け、2019年の支出額は予算額の3倍(5千5百万円)であり、各界で「功労・実績のある方」を各府省が推薦するとしながら、実は自民党議員・閣僚の後援会・支持者が多数招待されていることを稲田朋美、世耕弘成議員、萩生田光一文科相の後援会員が多数参加していることで示しました。最高は山口県の安倍後援会員が毎年数百人が前泊で上京す

リレートーク Rely talk

11月15日	市駅前・宇治交差点宣伝	視察(加太)
16日	IR学習会	市母親大会
17日	公務	地域訪問 ライブ
18日	河西生活相談	調査(紀美野町メカ)
19日	会議	国会議 女性後援会世話人会
20日	京都市議団懇談	
21日	市駅前生活相談	関西広域連合議会

10日付赤旗は「素晴らしい質疑」と報道、野党議員から立憲の枝野幸男代表は「数年に一度のすばらしい質問だった」とか「圧巻の質疑 タムトモ史上最高でした!!!」と国民民主党の森ゆうこ参院議員。東京新聞や毎日新聞の見出しなども報じています。首相の資格にかかわる重大問題です。ネットやテレビはようやく取り上げていますがメディアはもつと取り組むべきです。13日付赤旗は「前夜祭の怪」です。(編集室)